

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	入居者家族が、入居者の一時帰宅の際の介護負担が大変であり、交流の機会が減りつつある。また、帰宅願望の強い利用者が増えてきており、その解消方法を見つからず困っている。	ふるさと訪問の実施を検討する。	①本人の生活史を把握して、本人の望んでいる場所がどこなのか把握する。②定期的なバスハイクの中で、状態的に安定している入居者の行ってみたいところに立ち寄る事の出来るよう計画する。	6ヶ月
2	3	地域の方々や入居者の家族が、認知症に対する理解が不足しているように感じる。	認知症の理解を深めて頂けるように、入居者と共に地域へ出かけていく。	①田原地区の小部落のお茶飲み会に出かけていく。②地区の自治会に加入する。③地区振興会の種々行事に参加する。	6ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。